

「話すこと・聞くこと」に関する問題

年

組

番

氏名

朝日小学校では、毎年秋になると「読書月間」が設けられています。そこで、図書委員会では、「読書月間」について各クラスに伝えるにいくことにしました。六年生の山田さんは、一年一組に伝えるにいくため、「委員会だより」を作り、配ることにしました。次の文章は、そのときに山田さんが配った「委員会だより」と話した内容です。

【委員会だより】

としよいいんかいだより

「どくしよげっかん」はじまる！

十月七日～十月二十五日までがどくしよげっかんです。

どくしよげっかんなので、一どに、三さいまで本をかりることができます。

たくさん本をよむようにしましょう。

☆手づくりしおり プレゼント

十さいよんだら、一つ、としよいいんかい手づくりのしおりをプレゼントします。

☆わたしのおすすめの本は・・・

○『ぶたのたね』

ぶたをはらいつぱいたべてみたいおおかみ。きつねはかせから、ぶたのたねをもらいます。さて、ぶたをたくさんたべられるのかな？

○『パパ、お月さまとって』

むすめに、「お月さまとって」とたのまれたおとうさんが、ながいながいはしごをかけて月をとりにいきます。しかけがあつて、ページをめくるのが、たのしいです。

### 【話した内容】

①こんにちは。図書委員会の山田です。みなさんは、入学してから今までに、どのくらい本を読みましたか。私は1年生のころ、図書室へ行って絵本を読むのがとっても楽しみでした。

② さて、今日は、朝日小学校で、毎年行われている「読書月間」について、3つのことをお知らせします。これから配る図書委員会だよりを見ながら聞いてください。



ア

③最後に、わたしのおすすめの本を2冊しょうかいします。

(話が続く)

問一 山田さんは①段落で、「委員会だより」には書いていないことを工夫して話しています。山田さんは、どのような工夫をしたのでしょうか。次の  の中に書いてみましょう。

答え

問二 ②段落のAの部分で、山田さんが話した三つのお知らせを一つ目の例にならって、次の  の中に、順序よく書いてみましょう。

例

一つ目は、期間についてです。

十月七日から十月二十五日まで、行われています。

答え

-----

-----

問三 ③段落の部分でおすすめの本をしようかと思うときに、どのような工夫をすれば、一年生がより、興味を持って聞くとお思いますか。あなたの考えを、書いてみましょう。

答え

(解答例)

問一 ○一年生に、問いかけている。

○自分が一年生のころのことを話している。

解説 自分の体験を話したり、聞き手が参加できるような問いかけをすると、聞き手側の興味を高めることができます。

問二 二つ目は、かりられる冊数です。一人三さつまでかりることができます。

三つ目は、プレゼントについてです。十冊読んだら、一つ手作りのしおりをプレゼントします。

解説 例にならって、順序よく「二つ目は、三つ目は・・・」と書き出しを意識し、語尾も「～です。～ます。」と丁寧な言い方で書きましよう。

問三

○本を持ってきて、表紙を見せながら話す。

○始めの部分を少し読んでみる。

○指人形やぬいぐるみなど、キャラクターを使って動かしながら話す。